

令和4年度

# 決算報告書

国立大学法人山口大学

# 令和4年度 決算報告書

国立大学法人山口大学

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差額 (決算－予算)	備考
収入				
運営費交付金	11,797	11,960	163	(注1)
施設整備費補助金	1,601	1,494	△106	(注2)
補助金等収入	378	2,808	2,430	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	18	18	0	
自己収入	32,524	34,121	1,597	
授業料, 入学料及び検定料収入	6,055	6,123	68	(注4)
附属病院収入	25,697	27,068	1,371	(注5)
財産処分収入	-	-		
雑収入	772	929	157	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	2,600	3,097	497	(注7)
長期借入金	4,803	4,668	△134	(注8)
目的積立金取崩	-	-	-	
前中期目標期間繰越積立金取崩	-	55	55	(注9)
計	53,721	58,222	4,501	
支出				
業務費	43,374	45,796	2,422	(注10)
教育研究経費	18,281	18,582	301	
診療経費	25,093	27,214	2,121	
施設整備費	6,421	6,180	△240	(注11)
補助金等	378	1,139	761	(注12)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	2,600	2,678	78	(注13)
長期借入金償還金	948	976	28	(注14)
計	53,721	56,771	3,050	
収入－支出	0	1,451	1,451	

決算額及び差額は単位未満切り捨てのため合計は必ずしも一致しません。

## ○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、予算段階では予定していなかった退職手当、年俸制導入促進費、教育・研究基盤維持経費の追加配分が行われたことにより、予算額に比して決算額が163百万円増加となりました。
- (注2) 施設整備費補助金については、計画変更に伴う繰越及び返還が行われたことにより、予算額に比して決算額が106百万円減少となりました。
- (注3) 補助金等収入については、新型コロナウイルス感染症対策のために附属病院へ措置された補助金及び国からの補助金の獲得に努めたことにより、予算額に比して決算額が2,430百万円増加となりました。また、補助金等収入には、授業料等減免費交付金が376百万円含まれており、本補助金は授業料等免除に使用しております。
- (注4) 授業料、入学料及び検定料収入については、入学者数及び入学志願者数が予算積算員数に比して増加したことにより、予算額に比して決算額が68百万円増加となりました。
- (注5) 附属病院収入については、新型コロナウイルス感染症に対する医療と高難度医療を両立し本来の大学病院機能を回復させたこと、「病院全体で空床を作らない」病床マネジメントを遂行したこと等による収入増により、予算額に比して決算額が1,371百万円増加となりました。
- (注6) 雑収入については、動物治療収入、研究施設等利用者負担金収入等、自己収入の獲得に努めたことにより、予算額に比して決算額が157百万円増加となりました。
- (注7) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、受託研究等及び寄附金の獲得に努めたことにより、予算額に比して決算額が497百万円増加となりました。
- (注8) 長期借入金については、計画変更に伴う繰越が行われたことにより、予算額に比して決算額が134百万円減少となりました。
- (注9) 前中期目標期間繰越積立金取崩については、退職手当、年俸制導入促進費等の取崩により、予算額に比して決算額が55百万円増加となりました。
- (注10) 業務費については、附属病院稼働増及びエネルギー価格高騰等に伴う診療経費の増加により、予算額に比して決算額が2,422百万円増加となりました。
- (注11) 施設整備費については、(注2)および(注8)に示した理由により、予算額に比して決算額が240百万円減少となりました。
- (注12) 補助金等については、(注3)に示した理由により、予算額に比して決算額が761百万円増加となりました。
- (注13) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、(注7)に示した理由により、事業規模が拡大したため、予算額に比して決算額が78百万円増加となりました。
- (注14) 長期借入金償還金については、予算段階で想定していた支払利息見込と差異が生じたため、予算額に比して決算額が28百万円増加となりました。